

議案第1号

令和3年度事業報告

今年度も新たなコロナウイルス感染症が再拡大し、社会経済活動に影響を及ぼし、当センターでも会員の安全面での就業先の休業や各種事業の延期・中止等をせざるを得ない状況がありました。

そのような中でも今年度のセンターの会員入会者並びに契約額は、若干増えており、役員並びに会員の皆様のご協力の成果であるとあらためて感謝申し上げます。

また、高齢化とともに毎年、増えている事故においても安全委員によるパトロールを実施し、注意喚起を行うことで、大きな事故もなかったことに安堵しております。会員の皆様には、「自分の命は自分で守る」ことをしっかりと考えて、今後も健康管理や安全対策へのご協力をお願いしたいと思います。

令和3年度も制限された中で、以下の事業の報告を致します。

1 組織運営体制強化

(1) 会員増強 193名（令和4年3月末現在）

町内に住む60歳以上の健康で働く意欲があり、幅広い能力を持つ方々へ入会を勧め、常時200名の会員確保を目指しました。

- ・町広報を活用した就業先や会員募集
- ・ホームページやスマホによる広報PR
- ・広報に折込チラシを年2回及びわくわく情報局を年1回配布
- ・1会員1就業先開拓運動の推進
- ・ハローワーク金沢及びハローワーク津幡での高齢者向け説明会の継続実施
- ・県シ連主催の講習会の開催と合わせた会員入会促進
- ・会員のポイントカード普及
- ・退会者の抑止

(2) 事務局体制強化

- ・役員・会員で構成された専門委員会による事業運営の取り組みを行なった。
- ・積極的な研修会参加（Webによる）で職員の知識能力向上を行なった。

(3) 会員による自主運営確立推進

- ・障子・襖張替の後継者育成のため、就業機会を設け、4名の後継者ができた。
- ・野菜市での手作り品販売ブースの設置を行い、会員の作品を多くの方々に見ていただくことで生きがいくりの機会を設けた。

2 就業機会の開拓

派遣事業を含めた受注の拡大に努めて、遺跡発掘業務を安定受注できるよう努力した。

- (1) 町内及び隣接する地域の企業・事業者・一般家庭に人材派遣業務及び会員が対応可能な業務を知らせ、就業機会の開拓に努めた。
 - ・ポイントシステムと連携した会員による1会員1就業先紹介運動を推進した。
 - ・季節ごとの(剪定・雪吊り・除草・除雪等)予約募集を行なった。
 - ・ホームページ及びスマホの活用による周知を行なった。
- (2) 講習会開催の取り組み
 - ・石川県シルバー人材センター連合会と連携した技能講習会を行い、技能付与及び会員入会を行なった。
- (3) デジタル化に伴い、会員向け「スマートフォン及びガラケー（携帯電話）の使い方講習会」を開催した。
- (4) 福祉分野でのワンコインサービスの拡充
- (5) 内灘町及び内灘町社会福祉協議会と情報を共有し、地域の高齢者の困っていることを支援できる団体として周知した。

3 会員の安全・適正就業に関する意識・知識の向上

事故ゼロを目指し、会員各自が、「自分の命は自分で守る」という安全に対する意識を定着させ、その為の知識・技能向上を図る機会を作った。

- ・リーダーによる朝礼・終礼の徹底（現場指示、注意事項の伝達等）を図った。
- ・柔軟体操の励行を進めた。
- ・賠償事故防止対策指示の徹底と現場管理を行ない、事故の減少に繋げた。
- ・安全・適正就業委員会を中心とした現場パトロールを計5回行なった。
- ・安全・適正就業委員会による事故原因の追究と再発防止
- ・季節に応じた注意喚起を「いきいき通信」や県シ連からのチラシを活用し、安全就業の啓発・情報発信を行なった。
- ・「安全ワッペン」の普及徹底を図った。
- ・「適正就業ガイドライン」の遵守を行なった。

4 普及啓発

センターのPRを兼ねたボランティア活動は、コロナの為に中止としました。

- ・コロナ対策を講じての11月と12月に「よってこか〜新鮮野菜市と手作り品ブース」を作り、シルバーのPRを行なった。
- ・会員によるチラシを利用したゴミ入れの作成・配布を行なった。

(配布先：内灘町社会福祉協議会)

- ・チラシによるシルバー人材センターPRを行なった。
- ・シルバーの活動内容をお知らせする機関誌『わくわく情報局』の発行（全戸配布）を行い、シルバーをより身近に感じてもらえるように努力した。
- ・内灘町広報等によるセンター事業のPRを年12回行なった。
- ・ホームページやスマホによる周知も併せて、行なった。

5 その他

- ・家事福祉援助サービスの拡大を図った。
- ・派遣事業の拡大を行なった。